



全県消防団長研修会

令和三年度全県団長研修会が一月一二日(金)、イヤタカ(秋田市中通)で、消防団長など消防関係者約六〇名が参加し開催されました。
 兵庫県立大学大学院教授 阪本真由美氏が、ジェンダーギャップが大きい日本で女性の視点を災害対応に生かす意義について講演され、その後、秋田県総合防災課 宇佐美晃市主幹の司会で意見交換を行いました。



令和三年度全県消防団長研修会

題 字
 初代会長 松野盛吉
 定 価 1部 48円
 (購読料は年会費に含む)
 発行人
 〒010-0951
 秋田市山王四丁目1番2号
 秋田地方総合庁舎内
 秋田県消防協会
 会長 高橋正尚
 電話 018-867-7320
 FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
 E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
 〒010-0951
 秋田市山王7丁目5-29
 株式会社 松原印刷社
 電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

講 演

『女性のパワーを生かし、地域の災害に備える』

講師：兵庫県立大学大学院 教授 阪本 真由美氏

■講演の主な内容

一 災害による人的被害

- (1) 直接死を上回る災害関連死
- (2) 災害死者数に年齢・ジェンダー格差
- (3) 障害のある人のほうが死亡率が高い

二 地域による災害対応

- (1) リスク認識をめぐる世代間ギャップ
- (2) 小グループによる声かけ避難
- (3) 地域ぐるみの避難体制を考える

三 災害とジェンダー

- (1) 災害時の子育て
- (2) 避難所・女性の悩み
- (3) 子育て世代をめぐる課題

四 女性のパワーを生かす

- (1) 女性ならではの視点 〓 様々な人にとって過ごしやすい視点
- (2) 避難所運営をめぐる課題
- (3) 被災後の子どもの居場所づくり

令和三年度全国統一防火標語
**おうち時間
 家族で点検
 火の始末**



阪本 真由美氏

意 見 交 換

① 女性が入団しやすい環境づくりはどうすべきか。

消防団のイメージが女性好みでないことが多い。入団すれば具体的な防災知識が身に付くなど楽しいイメージを出すこと、夜間訓練を避けて女性が参加しやすい時間帯を設定するなどの配慮が必要。

② 災害が少ない当市で大災害発生時の女性の役割はどうあるべきか。

災害が少ないのは今まで幸運だっただけ。どこでも起こり得る。女性団員の中には後方支援ばかりだと不満を持つ人もいる。女性への配慮が逆に働く場合もある。消火活動や避難所対応など、普段

から共に活動することが、いざという時に役に立ち、避難所での被災者の負担を減らすことに繋がる。



五城目町 小玉団長



大館市 齋藤団長



秋田市 永澤団長



由利本荘市 伊藤 団長



にかほ市 金子 団長



仙北市 渡辺 団長



男鹿地区 石川 消防長

臨時理事会

秋田県消防協会

(二財)秋田県消防協会臨時理事会が、一月一二日(金)、イヤタカで開催されました。

主な審議内容は次のとおりです。

【協議事項】

①(一財)秋田県消防協会評議員候補者の推薦について

八峰町消防団の菊地直人団長の死去に伴い空席となっており、評議員の候補者として、同消防団の現団長笹村清幸氏を評議員会に推薦する。評議員会は書面開催とする。

②全国消防操法大会の操法評価方法の変更について

操法実技が基準時間より早く終了した場合の加点を取りやめるといふ検討会の意見に対し、各支部の意見を踏まえ当協会として賛成することとする。

【報告事項】

①第三回理事会及び消防功労者表彰式の開催日

■第三回理事会

令和四年二月二五日(金)

一六時～ イヤタカ

■消防功労者表彰式

令和四年三月一日(金)

一三時三〇分～ 県庁第二庁舎

②女性消防団員スキルアップ研修(オンライン講座)の開催

参加者少数のため中止した女性消防団員教育に代えて開催する。

■日時

令和三年十一月二八日(木)

一三時三〇分～一五時

■講師

(二社) リスクウオッチ

代表 長谷川 祐子氏

③「消防団員の惨事ストレス研修カリキュラムの開発研究」への協力
筑波大学名誉教授松井豊氏主催の研修を県内三箇所で開催する。

新消防団長紹介



八峰町消防団

笹村 清幸

平成三十一年四月一日 副団長
令和三年十月一日 団長

第二回若手消防団員

活性化推進会議

一月二二日(月)、若手消防団員活性化推進会議を開催し、来年二月に行う第二回若手消防団員交流会について協議しました。

交流会では、若手がやり甲斐を感じ活動しやすい環境を作るための方策について話し合い、その結果を来年七月に開催する秋田県消防大会(鹿角市)で発表することとしました。

・開催日 令和四年二月五日(土)

・開催場所 イヤタカ(秋田市中通)

・対象者 各消防団から概ね四〇歳までの団員一名

女性消防団員数名



令和三年秋の叙勲・褒章
第三七回危険業務従事者叙勲

令和三年秋の叙勲・褒章及び第三七回危険業務従事者叙勲の受章者が一月三日に発令されました。

本県の消防関係では、秋の叙勲で二三名、危険業務従事者叙勲で八名が受章されました。一月二四日に秋田県正庁において、知事伝達式が行われました。

受章者の皆様、誠におめでとうございます。(記載は五十音順)



令和三年秋の叙勲

◆瑞宝双光章(二名)

元鹿角市消防団

団 長 児 玉 誠 喜

◆瑞宝单光章(二二名)

元大館市消防団

分 団 長 石 垣 賢 一

元秋田市消防団

分 団 長 石 塚 彌 左 衛 門

元横手市雄物川消防団

副 団 長 近 江 幸 光

元横手市増田消防団

副 団 長 大 類 良 一

元五城目町消防団

分 団 長 小 熊 新 一

元湯沢市消防団

副 団 長 加 藤 久 男

元大館市田代消防団

分 団 長 工 藤 壽 信

元由利本荘市消防団

分 団 長 小 松 榮

元横手市十文字消防団

副 団 長 近 洋

元大館市消防団

分 団 長 齊 藤 仁

元雄勝町消防団

分 団 長 佐 々 木 悦 朗

元八峰町消防団

副 団 長 佐 々 木 隆

元仙北市消防団

分 団 長 高 貝 寿 孝

元上小阿仁村消防団

分 団 長 武 石 昭 吾

元美郷町消防団

分 団 長 照 井 修 二

元大仙市消防団

副 団 長 西 嶋 次 男

元琴丘町消防団

分 団 長 福 岡 忠 正

元男鹿市消防団

分 団 長 藤 田 清 秀

元羽後町消防団

分 団 長 藤 原 信 三

元秋田市消防団

副 団 長 古 木 仁 悦

元東成瀬村消防団

副 団 長 古 谷 実

元秋田市消防団

分 団 長 横 田 德 正

第三七回危険業務従事者叙勲

◆瑞宝双光章(五名)

元横手市消防本部

消 防 監 泉 田 榮 次

元能代山本広域市町村圏組合消防本部

消 防 監 落 合 鎌 彦

元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

消 防 監 菅 原 一 男

元湖東地区行政一部事務組合消防本部

消 防 司 令 長 菅 原 義 行

元横手市消防本部

消 防 司 令 長 藤 原 正 美

◆瑞宝单光章(三名)

元にかほ市消防本部

消 防 司 令 長 阿 曾 時 秀

元秋田市消防本部

消 防 司 令 長 櫻 田 寿 明

元男鹿地区行政一部事務組合消防本部

消 防 司 令 高 橋 常 夫



知事伝達式

令和3年度 消防団員指導員研修受講者名簿

消 防 団 名	階 級	氏 名
鹿角市消防団	班 長	内 藤 昌 浩
大館市消防団	班 長	佐 藤 将 考
北秋田市消防団	班 長	松 橋 謙
上小阿仁村消防団	部 長	北 林 正 史
能代市消防団	副分団長	伊 藤 義 広
八峰町消防団	分 団 長	三 浦 務
男鹿市消防団	部 長	畠 山 誠 一
潟上市消防団	班 長	桜 庭 馨
五城目町消防団	副分団長	千 葉 貞 光
井川町消防団	副分団長	中 道 角 栄
大潟村消防団	分 団 長	工 藤 和 博
秋田市消防団	分 団 長	佐 藤 孝
秋田市消防団	分 団 長	鎌 田 正 博
由利本荘市消防団	部 長	村 上 和 洋
由利本荘市消防団	部 長	尾留川 吉 和
由利本荘市消防団	班 長	長谷部 悟
由利本荘市消防団	班 長	小 野 一
由利本荘市消防団	部 長	眞 坂 博 之
にかほ市消防団	分 団 長	佐々木 讓
大仙市消防団	副分団長	佐 藤 隆 康
仙北市消防団	分 団 長	小 西 芳 雄
美郷町消防団	部 長	泉 広 司
横手市消防団	分 団 長	柿 崎 光 一
横手市消防団	分 団 長	北 嶋 寿
横手市消防団	副分団長	佐々木 広 一
横手市消防団	副分団長	安 部 正 巳
横手市消防団	副分団長	高 橋 武 彦
横手市消防団	副分団長	佐々木 悟
湯沢市消防団	分 団 長	村 上 保 雄
湯沢市消防団	副分団長	村 上 孝 司
羽後町消防団	分 団 長	大 庭 久 志

令和3年度
消防団員指導員研修

秋田県消防学校

令和3年度消防団員指導員研修は、一月二七日(土)、二八日(日)の二日間、秋田県消防学校で開催され、二〇消防団から三二名が参加しました。
研修では、幹部の心得、現場指揮・安全管理、消防団の活性化などの座学のほか、応急手当、救助活動などの実技が行われました。



中央方面隊

放水訓練や

消防用器具操法などの

訓練を実施しました

秋田市消防本部

◆ ◆ ◆
十一月七日(日)、秋の火災予防運動の一環として、市内各地区において消防団員四〇九名、消防職員六四名が参加し、消防団員の技術向上と地域住民の防災意識の高揚を図るため、各種訓練を実施しました。
◆ ◆ ◆
また、市内全域で火災予防ポスターやのぼりの掲出、一般家庭の住警器設置等の防火安全指導など、広報活動も行いました。
◆ ◆ ◆
暖房など火気を多く使用する時期なので、啓発活動とこの訓練により強化された技術を活かし、地域の安全安心に努めてまいります。



南部方面隊



北部方面隊



雄和方面隊



河辺方面隊



小島澗さんの作品

**令和三年度
防火ポスターコンクール**

令和三年度防火ポスターコンクール(生活協同組合 全日本消防人共済会主催)の審査が先頃行われました。同コンクールは、各道府県が二点以内を選定して応募するもので、本県からは、大館市立第一中学校一年 小島澗おじまわたるさんの作品を応募していました。小島さん、来年も素敵な作品を描いて応募してください。お待ちしております。

【コンクールの概要】

目的

全国統一防火標語にあわせて、子供達が火災予防についての意見や考えを自由な発想でイメージし絵画として表現することで、防火に関する意識を高める。

応募資格

四年生以上の小学生及び中学生

表彰等

- ① 最優秀賞 一名
 - ② 優秀賞 二名
 - ③ 佳作 若干名
- 入選者には賞状及び記念品を贈呈

**女性消防団員スキルアップ研修を
開催しました**

一月一八日(木)、女性消防団員スキルアップ研修をオンラインで開催しました。

一〇月に予定していた女性消防団教育が参加者少数により中止になったため、これに代えて企画したもので、一一消防団から四六名の女性団員が参加しました。

(二社) リスクウォッチ代表 長谷川祐子氏が、「未来の大人への投資」と題して、米国で日本とは異なる安全文化に基づいて行われている、子どもへの危機管理教育について講演しました。

日本では、子どもを危険な物に近づけさせないことが重要とされますが、米国では、子どもが一人で危険に遭遇した時に、生き延びるための知恵を教えることが大切という考え方が共有されており、サバイバルのための実践的な訓練が行われているそうです。

長谷川氏は、米軍横須賀基地消防隊に勤務されたほか、日本消防協会専門委員、大学や地方自治体の講師を務めるなど、多方面で活躍されています。

本県の女性団員にも知己が多く、講演後の意見交換では、和やかな雰囲気です。



研修の様子



長谷川 祐子 氏



にかほ市



北秋田市



湯 沢 市

**女性消防団ネットワーク会議
開催準備委員会**

一〇月五日(火)、女性消防団ネットワーク会議開催準備委員会をオンラインで開催しました。

委員会では、一二月に開催する会議の内容や進め方について協議しました。

会議では、日本赤十字秋田短期大学 講師 及川真一氏の講演と質疑応答・ディスカッションを行うこととしました。

- ・ 開催日 令和三年十二月一日(土)
- ・ 開催場所 イヤタカ(秋田市中通)
- ・ 開催時間 一四:〇〇～一六:〇〇

令和3年出初式の開催予定

令和3年12月6日現在

消防団	月 日	観閲式会場	式典会場
鹿角市	1月4日(火)	コモッセ正面玄関前	文化の杜交流館
小坂町	1月4日(火)	明治百年通り	小坂町交流センター セパーム
大館市	1月9日(日)	大町ハチ公通り	ほくしか鹿鳴ホール (大館市民文化会館)
北秋田市	1月9日(日)	旧北都銀行鷹巣支店前	北秋田市文化会館
上小阿仁村	1月4日(火)	健康増進トレーニング センター前	開発センター
能代市	1月5日(水)	能代市島町通り 二ツ井町駅通り	能代市文化会館
藤里町	1月4日(火)	藤里町役場庁舎前	藤里町総合開発センター
三種町	1月4日(火)	三種町琴丘総合体育館駐車場	三種町琴丘総合体育館
八峰町	1月5日(水)	中止	峰栄館
秋田市	1月5日(水)	秋田市消防本部前 けやき通り	秋田市文化会館
男鹿市	1月6日(木)	男鹿市役所～オガール	男鹿市市民文化会館
潟上市	1月4日(火)	中止	潟上市市民センター かたりあん
五城目町	1月4日(火)	朝市駐車場	広域五城目体育館
八郎潟町	1月4日(火)	中止	農村環境改善センター
井川町	1月4日(火)	中止	井川町公民館
大潟村	1月6日(木)	中止	ホテルサンルーラル大潟
由利本荘市	1月15日(土)	中止	由利本荘市文化交流館 カダール
にかほ市	1月5日(水)	実施していない	金浦体育館
大仙市	1月5日(水)	中止	大曲市民会館
仙北市	1月6日(木)	中止	仙北市民会館
美郷町	1月4日(火)	総合体育館リリオス前駐車場	美郷町公民館
横手市	1月5日(水)	中止	横手体育館
湯沢市	1月5日(水)	中止	湯沢市湯沢文化会館
羽後町	1月5日(水)	中止	羽後町総合体育館
東成瀬村	1月4日(火)	東成瀬村民体育館	東成瀬村民体育館



会議の様子



佐々木教子 リーダー(由利本荘市)



佐藤久子 サブリーダー(大仙市)

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

総合防災設備センター

株式会社 高義商会

(営業種目) { トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種

〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 タカギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880
FAX (0182)(32)0839

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | 消防設備保守点検
トーハツポンプ | キンパイホース
各種消防機械器具 | 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

支部情報アラカルト

秋の火災予防運動

「沖田面地区防災訓練」について

一月八日、上小阿仁村沖田面集落において、防災訓練を行いました。

訓練の内容は、初期消火訓練、消防団による火災防ぎよ訓練、避難所運営訓練です。

最も重視したのは避難所運営で、新型コロナウイルス対策に重点を置きました。

避難所の玄関先で体温チェックを行いました。チェック段階で「健



康」「不健康」の二手に分かれ、感染症対策訓練を行いました。

避難所の設営訓練では、昨年、新型コロナウイルス対策交付金を利用して購入したパーティションの組み立てや使用方法等を地域住民と一緒にを行いました。

新型コロナウイルス対策を念頭に入れた避難所運営は、地域住民にとっても初めての経験でした。

令和四年度に行われる予定の「大館北秋田支部総合防災訓練」の予行演習という意味でも、中身の濃い訓練となりました。



火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	令和3年		令和2年			同期比較	
	11月	累計	11月	累計	年計	11月	累計
建 物	13	171	23	145	173	-10	26
林 野	0	23	1	24	24	- 1	- 1
車 輛	2	28	2	25	27	0	3
その他	3	75	4	80	82	- 1	- 5
合 計	18	297	30	274	306	-12	23
死者数	2	22	4	18	24	- 2	4
負傷者数	2	47	6	43	60	- 4	4



〔情報提供〕大館北秋田支部

モリタ消防ポンプ シバウラポンプ
 桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
 各種消火器 消防機器一式

株式会社 能代消防センター
 株式会社 協 立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
 TEL (0185) (52)6494
 (52)6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
 ポンプ自動車
 小型ポンプ
 ホース

設 備
 火災報知器
 スプリンクラー
 消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
 猿田興業ビル3F FAX 018 (824) 3651